

自民党員が選挙を前に中傷ビラ

フェイクウノで 選挙を汚すのは許せません

自民党員が代表を務める「団体」が、日本共産党をウソで中傷するビラを各地で配布しています。自分に都合の悪いことは隠す一方で、デマを流して、有権者をだます——こんなやり方は許せません。



日本共産党

たとえば、共産党は「天皇制の廃止」をめざしているといいますが

将来にわたり、天皇の制度の廃止を
共産党からもとめることはありません

「憲法のすべての条項を守る」——私たちは綱領にハッキリ書いています。天皇の地位は「主権の存する日本国民の総意に基づく」ものであり、その「存廃」は国民が決めることです。共産党からよびかけることはありません。

この団体の主張は、一事が万事この調子。まともにとりあう内容はありません。

インタビュー

「天皇の制度と
日本共産党の立場」

志位和夫委員長が詳しく述べています。
ぜひ、お読みください。



共産党をおとしめ、「野党共闘」を攻撃するのは的外れ



希望ある政治をつくるため
ちがいを脇において
共同するのはあたりまえです

◀市民連合の人たちと、消費税10%中止、安保法制廃止、安倍改憲許さない、辺野古新基地の中止、原発ゼロなどの政策合意を交わし、32ある参議院1人区で一本化した5野党・会派の代表=5月29日、参院議員会館

この中傷ビラは、結論として、「共産党との“共闘”を本気で支持しますか?」と野党共闘を攻撃しています。自民党にとって、市民と野党の共闘がこわいからです。

しかし、将来の展望など一致しない点は脇におい

て、当面する問題で一致して共同するのはあたりまえのことです。野党共闘の成功のために誠実に力をつくしている日本共産党を大きく伸ばしてください。